

平成27年基準に準拠し、より使いやすくなった!

Izumi System Planning

BIM×負荷計算

建築設備設計基準ソフトウェア

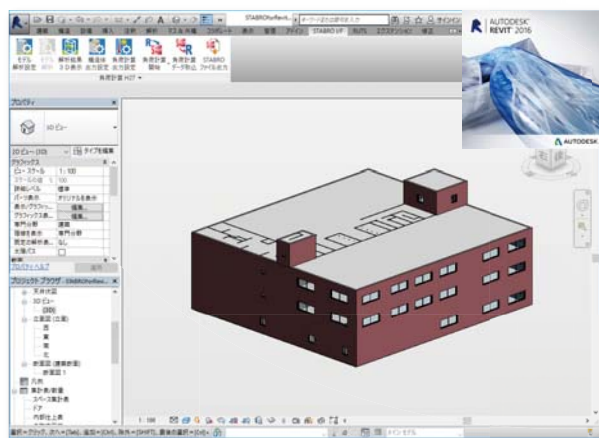
STABRO[®]

STANDARD OF MEP ENGINEERING DESIGN

for
Revit[®]
Ver. 1.2

“負荷計算の生産性向上”と “計算結果のBIM活用”にお応えします。

Autodesk Revit上の建物モデルから情報を自動で拾い出し、建築設備設計基準の負荷計算を行います。Revit APIを使用したダイレクト連携により、高い変換効率で効率的に情報の連携を行うことが可能です。

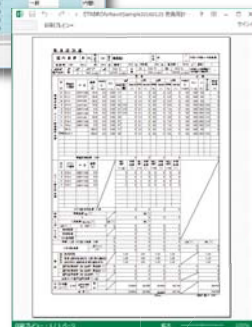


階、室、壁、床等の情報を
自動で抽出

補足情報を入力し空調負荷を計算



印刷Excel出力



計算結果をRevitで読み込み

■ 特長

● メニュー構成のリニューアル **New!**

より使いやすいソフトを目指し、Revitアドオンのメニュー構成、アイコンデザイン等を一新しました。

● 室、壁・床面積等の自動抽出

Revitの建物モデルから負荷計算に必要な情報を自動で抽出します。面積は壁芯で拾います。
(項目) 方位別面積および種類(窓、外壁、内壁、屋根、天井・床) 室面積・室諸元、空調系統情報

● 窓、壁等の種類・グループ化設定

設計段階により建物モデルに壁の情報がきちり設定されてなくても計算ができます。また、壁のグループ化機能により、壁の種類を減らした計算も可能です。

● 計算結果をRevitで読み込み

各室の負荷値(SH,LH等)をRevitのスペース(室諸元)へ読み込ませることが出来ます。Revitを中心とした負荷値の活用が可能です。

● オンラインライセンス認証

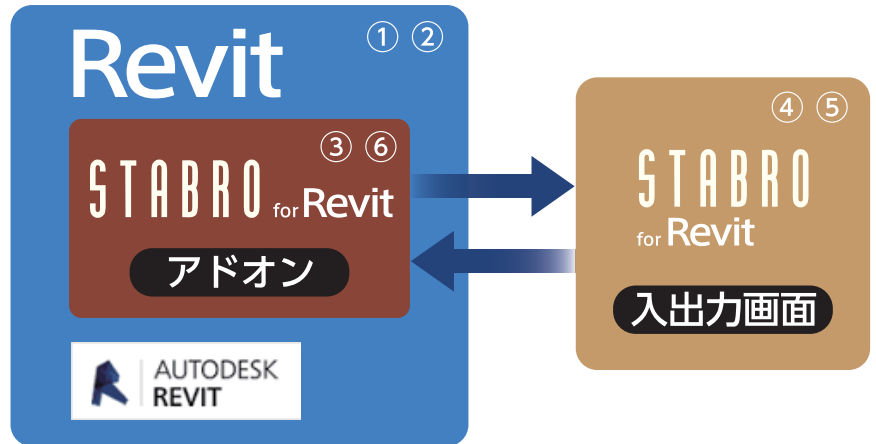
WEB上のライセンスサーバーで認証を行います。

■ ワークフロー、システム構成

ワークフロー

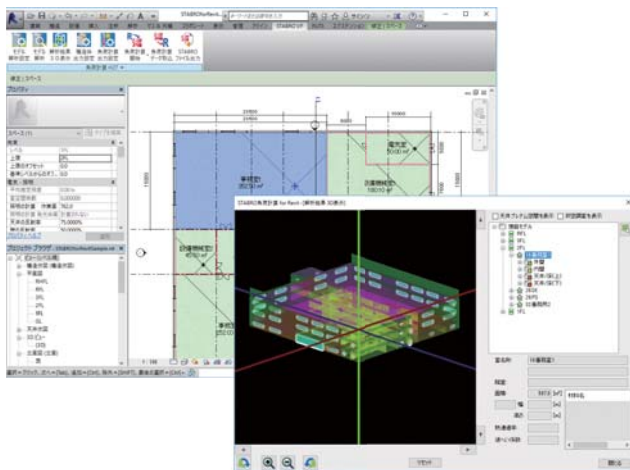


システム構成

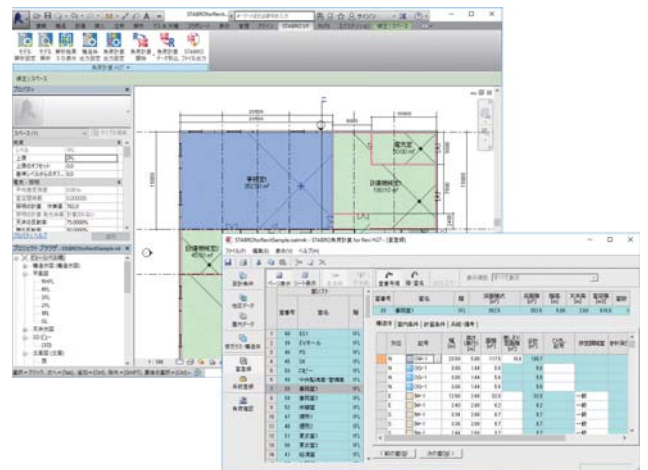


■ 画面イメージ

Revitアドオン画面(解析結果3D表示)



STABRO入出力画面(室登録)



■ 準拠している基準等

計算方法：一般社団法人公共建築協会編集・発行『建築設備設計基準 平成27年版』

※社団法人空調和・衛生工学会『空調和・衛生工学便覧』に記載されている構成材料データも追加で添付しています。

出力様式：一般社団法人公共建築協会編集・発行『建築設備設計計算書作成の手引き 平成27年版』

※入力データチェック等に利用可能な独自の様式を追加しています。

■ 必要システム

■ 対応Revit

Autodesk Revit (Architecture + MEP) 2017 / 2018

■ ライセンス形態

オンラインライセンス方式 ※インターネットへの接続環境が必要

■ 必要システム

OS : Windows 7 / 8.1 / 10 (64bitのみ)

CPU, メモリ : OSの推奨以上

必要ソフトウェア : Microsoft Excel 2010 以上 (帳票出力のために必要)

御見積依頼・お問い合わせ

システム企画部

TEL : 03-3868-3126

E-mail : info01@izumi-system.co.jp

詳しい情報は → <http://izumi-soft.jp>